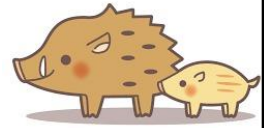




横浜市立恩田小学校 学校だより 1月号

発行 平成31年1月7日



2019年 新しい時代を迎えるにあたって

2019

校長 古屋 澄人

あけましておめでとうございます。横浜では穏やかな天候に恵まれ、金星（明けの明星）、月、木星がきれいに光り輝いた三が日となりました。平成最後となる年、平成31年がスタートしました。残り4か月で「平成」という時代が終わる寂しさを感じつつ、新しい時代を迎えるにあたって目標をしっかりと定めてスタートをきりたいと感じました。

書き初めには「1年の抱負や目標を定める」「字の上達を祈願する」という意味がありますが、最近では、抱負・目標を書くことで実現への意思を強めたり、行動を改めようとしたりすることが主となっています。子どもたちには、2019年のスタートとしての目標を大切にしながら、春の進学や進級など1年間の節目節目で目標をもって過ごすことができるようにしていきたいと思っています。

今年亥年、十二支の中でも最後の年となります。子年から始まった一つの流れが、亥年でいったん終わりを告げる年となりますが、この終わりは実をつけ種子を宿す終わりです。つまり、次の始まりに向けて新たなエネルギーを蓄える年でもあるそうです。恩田小学校では、子どもたちの目指す姿を基にして学校教育目標の見直しを進めています。私が教職に就いた年に昭和から平成へと時代が変わりました。同時に学習指導要領が改訂され、平成4年から完全実施となりました。その後、総合的な学習の時間の創設など、10年ごとにそれぞれの時代に求められた改訂が2回ありました。そして、2020年には外国語科や「特別の教科道徳」（横浜市では29年度から先行実施）、プログラミング教育などが導入される新学習指導要領が完全実施となります。「不易と流行」という言葉がありますが、新しい時代を創る担い手となる子どもたちには、これまでも大切にしてきた豊かな心・生きる力の育成を充実させていきたいと思ひます。そして、これからの時代に必要とされる学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう人間性の涵養」、生きて働く「知識・技能の習得」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」に向けて、2019年4月からは新しい学校教育目標のもと教育活動が一層充実するように準備をしていきたいと思ひます。

保護者の皆様には今年度の教育活動についての評価をお願いしました。保護者の皆様にご協力いただいたご意見を次年度の教育活動に生かすように分析していきます。その結果を含め今年度の教育活動について、2月12日（火）の学校説明会にてご報告させていただきます。また、地域の代表の方には1月21日（月）の「まちとともに歩む学校づくり懇話会」においてご意見を伺いたいと思ひます。平成から新しい時代へ移り変わる2019年も引き続き家庭・地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。